

< 豊明市特別職報酬審議会（第2回）議事録 >

1 日 時

平成 19 年 2 月 5 日（月）

午後 1 時 00 分から午後 2 時 00 分まで

2 場 所

豊明市役所 分庁舎 2 階 第二会議室

3 出席者

委 員：10 名（相羽幹夫、伊藤幸雄、木村文柄、鈴木正人、  
竹内節子、都築和男、遠山仁照、内藤昌裕、  
中野敏宏、森田哲夫）

事務局：企画部長、企画部次長兼人事秘書課長、人事秘書課長補  
佐（人事担当）、人事・給与担当係長、矢野主査

4 欠席者

なし

5 会長あいさつ

全委員 10 名の出席をいただき、定足数に達していますので本審議  
会を再開します。なお、答申がまとまった場合、本日は市長の予定  
も合うとのことですのでよろしく願います。

6 審 議

（会 長） 追加資料について、事務局の説明を求めます。

（事務局） 前回資料 3 の更新書類及び資料 5 に基づき説明をなす。

（会 長） 各委員から何かご質問はありますか。

（委 員） 追加資料内容とは少し違うが、役職加算は議員にも適用  
されているのか。

（事務局） はい。

（会 長） 資料 3 について前回から更新されたのは、1 市の結果のみ  
とのこと。前回の資料内容も併せて各委員からご質問は。

他に質問なし

（会 長） それでは本審議会としての意見の取りまとめに入ります。

各委員のお考え、結論はいかがですか。

(委員) 論点は異なるかもしれませんが、前回の議事内容での農地の使い方、交通の便の良さの活かし方について、北海道伊達市の取り組みを情報番組で取りあげていた。移住者増の政策をたてて、「住んでみたいまちづくり課」という課をつくり、補助金だけに頼らない施策を展開している。現在のところ 400 人増。将来的には 2~3 千人増を目指しているとのこと。豊明市においても、人口と税収増のため思い切った政策を展開してほしい。結論としては据え置きです。

(委員) 歳入増も見込めず、借金も多く、議員定数減による減額も微々たるもの。据え置き。

(委員) 改選時期にきちっと検討して、4 年間の方針を決するのが理想。近々、収入役廃止と、助役という職名が副市長に改められ、市長・副市長という体制になり、責任が重くなるのでは。しかし、財政的には厳しく、税収の外見は増える見込みだが、歳入全体での実情は減である。基金もないに等しい。市長給料も地域手当を含めずに考えれば 34 市中 16 位。ここらで我慢をしてもらおう。議員定数減を経費の削減ととるか、少数精鋭化するととるか。私は精鋭として捉えてその方向での考慮をするべきと思う。しかし、最近は政務調査費の不明朗支出等の論点もあり、改選後の実際の活動をみてから考えても良いかと思う。結論は市長等、議員とも据え置き。

(委員) 先の委員と同意見。議員定数減については自助努力の賜物。よく 4 名も削減された。私としては前回減額された報酬分程度を戻してもよいと思うが、近隣市はみんな据え置き。収入役もなくなり、議員も減。ただ、そのことをもって報酬を増額するのもおかしいかもしれない。結論は据え置き。

(委員) 素人の目線で単純に資料の数字を見ると、他市とのバランスは良いのではないかと思う。今回の資料を見て思うのは、議員さんの待遇はいいなあ、というのが率直なところ。それよりも税収減が大丈夫なのかが気になる。景気回復と言われながら、なぜこん

なに下がる方向なのか。結論は据え置き。

(委員) 市長給料について、心情的には上げたいが、改選期であり4月からは言わば1年生。据え置きで仕方ない。2~3年生になられたら、またその時点で考えたい。

(委員) 結論としては現状維持で。

(委員) まだまだ先行きは不透明な時代。現状維持で。

(委員) 報酬は財政問題と自治体の能力を考えて決めるもの。私は財政がいつも気になる。愛知県の統計ホームページを見れば、県内市町村の詳しい資料が全部出ている。職員構成等の構造も詳しく載っている。歳入が減る傾向の中、報酬は増やせない。昨年度の審議会で、議員定数減になったら考えてもよいと言ったが、人件費の圧縮で他市とも現状でイーブンになってきてしまっている。据え置きで我慢を。

(会長) 各委員の意見をお聞きした結果、据え置きという結論であると見受けます。本審議会として全員一致で据え置きと決定してよろしいか。

全出席委員異議なし

(会長) 異議なしと認め、本審議会として全員一致で据え置きの結論と決めます。答申書(案)ができるまで休憩とします。

(休憩 13:25~13:35)

(会長) 答申書(案)ができましたので事務局に朗読させます。

(事務局) 答申書(案)を朗読。

(会長) この(案)について、ご異議はありませんか。

全出席委員異議なし

(会長) 異議なしと認め、これで答申と決めます。それでは、答申書の準備ができるまで休憩とします。

(休憩 13:40~13:45)

(会長) これより市長の入室を求めます。

市長入室

7 答申書手交

会長より市長へ答申書を朗読のうえ手交。

8 市長あいさつ

長時間にわたる審議に感謝いたします。今年度は他市状況もほとんどが据え置きでした。景気が戻ってきており、県内でも法人市民税が大幅に増額している団体もあり、格差が生じてきている。本市はサラリーマンがほとんど。一時的な増収を見込めない中、妥当なご判断をいただいたのではないかと思います。いただいた答申を尊重できるよう議会とも相談したうえで決定いたします。

9 会長あいさつ

2回にわたり慎重な審議をありがとうございました。これをもちまして、豊明市特別職報酬審議会を閉会します。

午後 2 時 00 分閉会